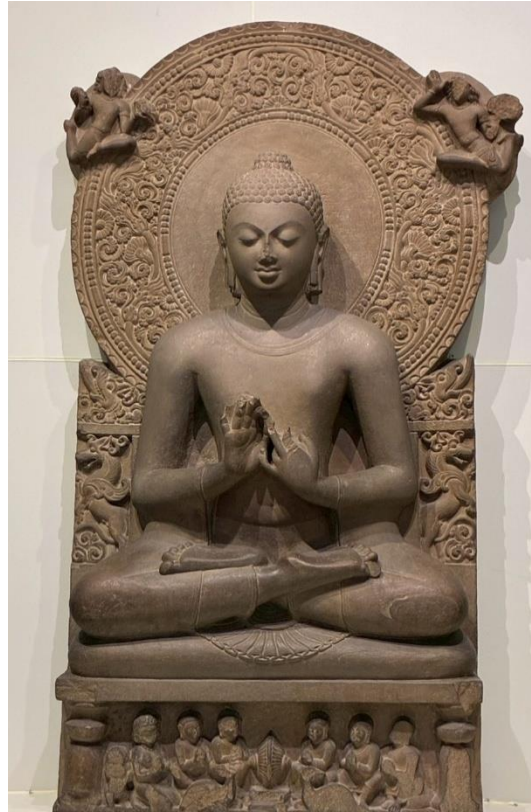


般若心経偽経説に対する水源先生の回答



(以下 U 氏からのメール)

おはようございます。

水源先生のメール拝見しました。

前にお話しした事をよく憶えていませんが、般若心経秘鍵は間違い無く弘法大師の著作ですが、あとがきの部分が、大師の書かれたものではないと言われています。

時に弘仁九年の春、天下大疫す。爰に帝皇自ら黄金を筆端に染め、紺紙を爪掌に握って、般若心経一卷を書写し奉りたもう。

予、講読の撰に範て経旨を綴る。未だ結願の詞を吐かざるに、蘇生の族、途に于む。夜變じて日光赫赫たり。是れ愚身が戒徳に非ず、金輪御信力の所為なり。但し神舎に詣せん輩、此の秘鍵を誦じ奉るべし。

昔、予、鷲峯説法の庭に陪って、親り是の深文を聞きき。豈に其の義に達せざらんや而已。

この部分はあとから、見つかったと言われています。弘仁9年(818)には、疫病の流行は

なかったと言われています。

最後の部分。

「昔、私は、釈尊が靈鷲山でこの心経を説かれた時に、その座にいたので、この心経の深い意味がわかるのです。」

とあります。

これを今の学者はフィクションだというのですが、どうでしょうか？

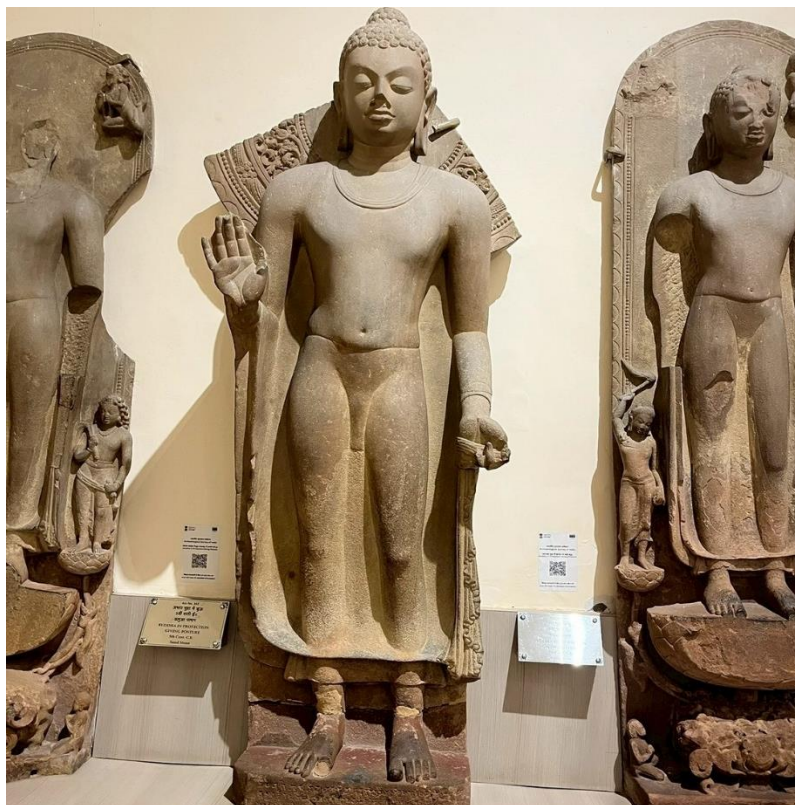
ですから、秘鍵そのものは、偽物ではありません。

心経そのものが、釈尊の教えではないといっているのは、スマナサーラ長老です。

スマナサーラ長老は大乗仏教そのものが、釈尊の説かれたものでないと言ってますからね。

【回答1】

色々と調べていましたが、般若心経秘鍵に明快に顕秘と述べてありましたが、U さんのお話では偽経と片付けておりました。この経典は Gandhara school*（チベット仏教の原点）の核心の経典より空海大師様が発表されたのと思います。顕密の極秘が述べております。私の瞑想行のヴィパッサナーで確認しておりますが、どなた様が偽経として片づけておりますのか知りたいもので、禅の秘伝と南伝のアビダンマを通過しなければ解読出来ない話です。もし私が般若波羅蜜心経の重大性を発表しましたら、日本の立場がとてもおかしくなります。



注*1ガンダーラ(現在のパキスタン北部からアフガニスタン東部)は、世界で初めて「仏像」が造られた仏教文化の聖地。当時、ギリシャの影響を受けた美しい仏像が多数生まれた。

【回答2 羅什訳と玄奘訳の比較】

摩訶般若波羅蜜大明咒經 (羅什訳)

觀世音菩薩。行深般若波羅蜜時。照見五陰空。度一切苦厄。

舍利弗。色空故無惱壞相。受空故無受相。想空故無知相。行空故無作相。識空故無覺相。

何以故。舍利弗。非色異空。非空異色。色即是空。空即是色。受想行識。亦復如是。

舍利弗。是諸法空相。不生不滅。不垢不淨。不增不減。是空法。是故空中無色。無受想行識。

無眼耳鼻舌身意。無色聲香味觸法。無眼界乃至無意識界。無無明亦無無明盡。乃至無老死亦

無老死盡。無苦集滅道。無智亦無得。

以無所得故。菩薩依般若波羅蜜故。心無罣礙。無罣礙故。無有恐怖。遠離顛倒夢想。究竟涅槃。

三世諸佛。依般若波羅蜜故。得阿耨多羅三藐三菩提。

故知般若波羅蜜。是大神咒。是大明咒。是無上咒。是無等等咒。能除一切苦。真實不虛。

故說般若波羅蜜咒。即說咒曰。

multipā (羯諦) multipā (羯諦) 波羅羯諦 波羅僧羯諦 菩提 莎訶

補足・玄奘訳(『般若心経』)との主な違い

冒頭の菩薩名

羅什訳：「觀世音菩薩(觀世音菩薩)」

玄奘訳：「觀自在菩薩(觀自在菩薩)」

「五蘊」の表記

羅什訳：「五陰(ごおん)」

玄奘訳：「五蘊(ごうん)」

「色不異空…」の展開

羅什訳：冒頭に「色空故無惱壞相…」という独自の文言が入る(色・受・想・行・識のそれぞれの相が空であることを具体的に述べている)。

「遠離顛倒夢想」

羅什訳：「遠離顛倒夢想」（「一切」が入らない）

玄奘流布本：「遠離一切顛倒夢想」 鳩摩羅什の般若波羅蜜心経が正しい。

【回答 3 福井文雄の般若波羅蜜心経の暴論説明】

質問文にある「福井文雄（ふくい ふみお）」および検索キーの「福井文雄の般若波羅蜜心経の暴論説明」は、東洋学者・仏教学者である福井文雅（ふくい ふみまさ）博士（早稲田大学名誉教授）の研究成果や、それを取り巻く仏教学界での議論を指しているものと考えられます。

福井文雅氏は『般若心経の歴史的研究』や『般若心経の総合的研究』などの大著を著し、『般若心経』の成立・受容史について伝統的な見解や一部の過激な新説に反論を展開しました。

「暴論」という表現が使われる背景としては、主に以下の 2 つの議論や学説上の対立が挙げられます。

1. ジャン・ナティエ（Jan Nattier）説（「心経は中国製」説）との対立

ナティエ氏の説（1992 年）：

アメリカの仏教学者ジャン・ナティエ（Jan Nattier）は、「『般若心経』はインドで最初にサンスクリット語で作成されたのではなく、玄奘らが漢訳『大品般若経』から抜き出して中国で編纂した（漢文が先でサンスクリット訳が後）偽経的・偽作的な成立過程を持つ」とする衝撃的な仮説を発表しました。

福井文雅氏による反論・批判：

文献学・歴史学の観点から厳密なテキスト批判を行う福井氏は、こうした「中国撰述説（偽経説）」や一飛跳びの極端な新説に対して強く反論し、伝統的な成立・伝承史の検証や慎重な文献比較を主張しました。

「暴論」とみなされる背景：

ナティエ氏側の支持者や「心経＝中国製」という斬新な説を好む層からは、福井氏の保守的・緻密な実証主義や伝統的解釈への擁護が「頑なである」と受け取られたり、逆の視点

から「ナティエ氏の中国撰述説こそが暴論である」と評されたりするなど、互いの主張を巡って激しい論争となりました。

2. 「心経は呪術・密教的真言である」とする解釈や通俗的解釈への批判

福井文雅氏は、近代以降の一般書や一部の研究者によって流布した「般若心経は単なる呪文・おまじない（真言）である」とする極端な解釈や、文脈を無視した過度な現代的アレンジ（俗説）に対し、文献学的根拠をもとに厳しく批判しました。

一部のポピュラーな解説書や独自の解釈を展開する人物たちから見れば、福井氏の実証的で厳しい学術的指摘が「過剰な批判（あるいは暴論批判）」と受け止められることがありました。

結論

名前の特定: 学術的に『般若心経』の大規模な研究を行った第一人者は福井文雅博士です。

「暴論」をめぐる実態:

「心経は中国で作られた」とするナティエ説を「暴論」と批判する立場

ナティエ説などを支持・紹介する立場から、福井氏の伝統的・実証的立場を「極端（あるいは古くさい）」と見る立場

双方の視点・論争が存在するため、文脈によってどちらの主張を指して「暴論」と表現しているかが異なります。

【回答4】

その後お元気ですか？インド旅行はどうでしたか？私は20名のメンバーと一緒に10大聖地巡礼して、全員が大感激しておりました。その前にヒマヤラのネパールでワサを終えてから、個人的に北、中、南インドの聖地巡礼を漫遊しましたが、驚いたことに笹井さんは日本剣道の修行者で仏教界の修行者ではなく、14祖 龍樹菩薩様とは関係ないですね。

（昔、私は、釈尊が靈鷲山でこの心経を説かれた時に、その座にいたので、この心経の深い意味がわかるのです。とあります。）

vipassana では 過去を見るのが必修科目で、その過去の物質をも解説出来なければいけません。

7祖、8祖は Gandhara school で 大乘で、チベット仏教は Gandhara 派で Boru Bodo-と

深く関係しています。私が Afghanistan、カブールを訪ねた時に分かったことです。六祖檀經の般若波羅蜜心經の章では慧能大師様の解説では西国（今のアフガニスタン）の教えであると1300年前の原本文（法海本、南華寺で明代の彫刻版を授かりました。南華寺では即身成仏－慧能大師様、憨山大師様、虚雲大師様－ 三体と釈尊の衣、水晶の鉢が祭われています。中川 孝先生の六祖檀で般若波羅蜜心經の章は半分欠落しております。）日本では私だけが伝授されました。即身成仏の大師様方々憨山大師様にも同じく、空海大師様の現象が発生しています。このような文学研究科状況で、福井文雄の般若波羅蜜心經の暴論説が発生したのでしょうか。日本では鎌倉時代の検証で、止観禪無くしては話になりませんね。ナティエ説も同じく Abidan Nma の Vipassana（止観禪）を通過していないようですね。

鳩摩羅什（くまらじゅう、梵: Kumarajiva [クマーラジーヴァ]、**344 年 - 413 年**^[1]、一説に **350 年 - 409 年**^[2]とも）は、**龜茲国**（きじこく^{[3][注釈 1]}）（現在の**中華人民共和国新疆ウイグル自治区クチャ市**）出身の西域僧）

「性空」は中国語の言葉であり、その意味は、様々な因縁によって構成されたあらゆる事物は、その本性が本来「空」であり、実体として捉えられるような確固たる自己（自性）を持たないとい（げんじょう、**602 年 - 664 年 3 月 7 日**） うことです。

360 年代 仏教における学問の中心地であったカシミールに遊学^[8]。原始經典や**阿毘達磨**仏教を学ぶ。（vipassana. Samata. 止観禪）

369 年 **卑摩羅叉**（びまらしや、ヴィマラークシャ）より**具足戒**を受け、須利耶蘇摩（しゅりやそま、スーリヤソーマ）と出会って**大乘**に転向。主に**中観派**の論書を研究。『**仏説阿弥陀經**』『**摩訶般若波羅蜜經**』『**妙法蓮華經**』を訳す。

玄奘三蔵（げんじょう、**602 年 - 664 年 3 月 7 日**）

『**般若心經**』も玄奘が翻訳したものとされているが、この中で使われている**觀自在菩薩**は、鳩摩羅什による旧訳では『**觀音經**』の趣意を意識した**觀世音菩薩**となっている。（『**般若心經**』も玄奘が翻訳したものとされているが、この中で使われている**觀自在菩薩**は、鳩摩羅什による旧訳では『**觀音經**』の趣意を意識した**觀世音菩薩**となっている。『**阿毘達磨大毘婆沙論**』（vipassana. Samata. 止観禪）、**金剛般若經**、**般若心經**、**阿弥陀經**』

（心經そのものが、釈尊の教えではないといっているのは、スマナサーラ長老です。）

スリランカの修行者は第一禪定以上を教える寺院はないので、無理もない事でスマナサーラ比丘はスリランカでは彼の教えはとてもおかしいと思われています。般若波羅蜜心經の修行法は顕秘にあり、此の修行法を驚くべきことに慧能大師様が教えてくれました。空海大師様と同じ事を教えています。特に慧能大師様の解説では般若波羅蜜の梵語の意味は彼岸に渡ると解説しております。

【回答5】

260文字は大事なことで、私達の存在はこれより成り立ってます。 $13 \times 20 = 260$ (マヤ時間、600年に1秒の狂い) 60進法 (Sumerian 文明) 現在も十二支の五元素で60サイクル、月齢も十三ヶ月あります。

亀の背骨は13、亀は万年と世界を表現しています。

十進法の現在の世界のグレゴリオ暦は四年に一日の狂い、破滅にまっしぐらです。

260文字の般若波羅蜜心經は Gandhara School 派の発表と推測します。金剛般若波羅蜜經はお釈迦様が涅槃に円寂する時の最後の教えで如来禪の秘密があります。

水源合掌

羅什訳：「遠離顛倒夢想」（「一切」が入らない）鳩摩羅什の般若波羅蜜心經が正しい。この地球上の動きは60進法で有り10進法でもなく、2進法でもありません。260文字が正解で262文字でわ地球の法則に会いません。太古文明より現在文明まで60進法が続きます。三千年前よりも続くエチオピアの聖書でEnoki（アダムより3代目これより7代目ノアの大洪水、12000前カラハンテペ遺跡も同じ60進法です。）が子孫に仏教をなさいと、いわれています。

Sumerian クニ文字（5000年前）では、神の訳は間違いで心に目覚（正覚、真如）めなさいが正解で、**Samuel Noah Kramer** (September 28, 1897 – November 26, 1990) was one of the world's leading [Assyriologists](#), an expert in [Sumerian history](#) and [Sumerian language](#). After high school, he attended [Temple University](#), before [Dropsie University](#) and the [University of Pennsylvania](#), all in [Philadelphia](#). 氏が最後のインタビュー1987年に述べています。

【回答6 なぜ260文字なのか】 太古インド文明と仏教の秘密

Parallels & Theoretical Connections (平衡性と理論的つながり)

- **Micro-Macro Numerology & Math:** Both systems feature base calculations and sacred numerical structures. In Mesoamerica, the *Tzolk'in* utilizes 13 numbers and 20 day-signs ($13 \times 20 = 260$). In Vedic astronomy, 260 is associated with specialized sub-counts, while 108, 360, and 60 form the backbone of time division ($108 \times 5 = 540$ 度は平面図形五角形でピラミッド、五佛を表して、アンコール トムは巨大な54の顔で作られ、108は数珠の数) 60-year cycles; 360-day ceremonial years).

メソアメリカ：ツォルキン (260) と幾何学・身体

メソアメリカの数理は、人間の身体と天界の階層をそのまま掛け合わせた二十進法をベースにしています。

- **ミクロ (身体と生命) :** 手足の指の合計である「20」と、人間の妊娠期間 (約 260 日) やトウモロコシの成長周期が基礎にあります。
- **マクロ (宇宙の階層) :** 天界の階層を表す聖なる数「13」を掛け合わせることで、 $13 \times 20 = 260$ のツォルキン暦が完成します。
- **儀礼暦 (360) :** 天文学的な 1 年 (365 日) とは別に、計算の美しさを保つために $20 \text{ 日} \times 18 \text{ ヶ月} = 360 \text{ 日}$ を「トゥン (Tun)」という 1 単位とし、大規模な時間 (長期暦) の計算の基盤としました。
- **Planetary Alignments (Venus Observation):** The Maya maintained extraordinary focus on the synodic cycle of Venus (~584 days), tracking its heliacal risings and inferior conjunctions. Comparative researchers note that this closely mirrors *Śukra-māna*—an ancient branch of Vedic astronomy dedicated specifically to tracking the positions and movements of Venus (*Śukra*).

マヤ人は金星の**会合周期 (約 584 日) **を驚異的な精度で計算していました。

- **ドレスデン絵文書:** 金星の運行カレンダーが記録されており、584 日の周期をさらに 4 つのフェーズ (明けの明星、内合、宵の明星、外合) に細分化して管理していました。
- **目的:** 主に政治的なタイミングの決定や、戦争、儀式の吉凶を占うために使われました。
- **Astronomical Epoch Starts:** The Maya Long Count era begins at a fixed epoch point (historically correlated to August 11, 3114 BCE). Similarly, the Vedic *Kali Yuga* epoch begins at a precise astronomical epoch calculated around February 18, 3102 BCE, reflecting a shared ancient tradition of grounding grand time cycles in specific planetary conjunctions.

- **マヤの長期暦 (Long Count)**

- **開始日:** 紀元前 3114 年 8 月 11 日 (GMT 対照法による一般的な換算値)
- **特徴:** 約 5,126 年で一巡する「13 バクトゥン」という巨大なサイクル (ピクトゥンなどさらに大きな単位もあります) の起点です。この日はマヤの神話における現世の創造の日とされています。

- **Mythological Connections:** In Vedic literature, the legendary architect of the *Asuras* is named **Maya Dānava** (celebrated for his advanced astronomical and architectural treatises such as the *Sūrya Siddhānta*). Writers in comparative mythology often highlight the phonetic and functional connection between Maya Dānava and the Mesoamerican Maya civilization.

2. 類似点と理論的関連性 —— ミクロ・マクロの数秘術と数学：両体系とも、基数に基づく計算や神聖な数の構造を特徴としています。メソアメリカのツオルキン暦は、13の数と20の日(デイ・サイン)の組み合わせ($13 \times 20 = 260$)を用いています。一方、ヴェーダ天文学において「260」は特定の細分化された計算に関連しており、108、360、60といった数が時間の区分の骨格を成しています($108 \times 5 = 540$ 、60年周期、360日の儀礼暦など)。惑星の整列(金星の観測)：マヤ人は金星の会合周期(約584日)を極めて重視し、そのヘリアカル・ライジング(太陽と共に昇る現象)や内合を追跡していました。比較研究者は、この慣行が「シュクラ・マーナ (Śukra-māna)」——金星(シュクラ)の位置や動きの追跡に特化したヴェーダ天文学の一分野——と酷似していると指摘しています。天文学的な時代の起点：マヤの長期暦(ロング・カウント)の時代区分は、ある特定の起点(歴史的には紀元前3114年8月11日に相当)から始まります。同様に、ヴェーダの「カリ・ユガ」の時代も、紀元前3102年2月18日頃に計算された正確な天文学的起点から始まっており、これらは特定の惑星の会合(コンジャンクション)に基づいて壮大な時間のサイクルを定めるという、古代の共通の伝統を反映しています。神話上の関連性：ヴェーダ文献において、アスラ族の伝説的な建築家は「マヤ・ダーナヴァ (Maya Donavan)」の名で知られています(彼は『スーリヤ・シッダーンタ』などの高度な天文学・建築学の著作で有名です)。比較神話学の研究者は、しばしばこのマヤ・ダーナヴァとメソアメリカのマヤ文明との間に、音韻的および機能的な関連性があることを指摘しています。

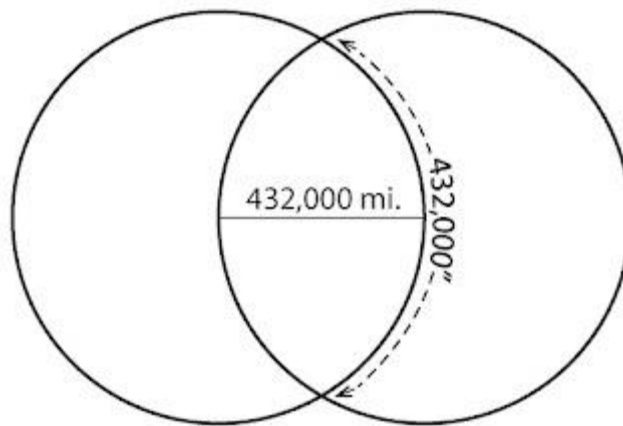
太陽、Vishnu (仏教の守護神) とアメリカ尺度とのカリユガ時間関係

<https://circumsolatiuous.blogspot.com/2019/07/the-sacred-measure-of-432000-as-key-of.html>

1/3 太陽の円周率 $120^\circ \times 60' \times 60'' = 432000$ 秒

the vesica piscis（同じ半径絵を持つ二つの円が互いの中央を通り、重なり合った時に出来る共通部分）の太陽半径 4 3 2, 0 0 0 アメリカ尺度は（太古文明の尺度）のマイルの中央に 阿弥陀様がいまして、観音様は the vesica piscis のことです。

432,000 年



観世音菩薩 般若の大船に乗り 文殊の風心地よく 阿弥陀如来の船頭で

日、月菩薩 彼岸花の般若波羅蜜心経の歌を飲む。

水源合掌



